

事前評価個表

整理番号	4
------	---

地域（地区）名	しもきた 下北	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	青森県	対象市町村	むつ市ほか4町村
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、青森県の北東部に位置する、むつ市ほか4町村からなる総面積142千haを包括する地区である。森林面積は118千ha（森林率83%）、このうち民有林の森林面積は32千ha（森林全体の27%）、うち人工林面積は17千ha（人工林率53%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は10齢級以上の割合が65%と、充実した森林資源を有効活用する段階にあり、木材の利用拡大が重要となってきている。</p> <p>このため本地区では、利用期を迎えた森林において、主伐及び利用間伐といった資源の循環利用を促進するとともに、水源涵養^{かん}や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、主伐後の再造林や保育等の適確な森林施業が必要となっている。</p> <p>しかしながら、費用負担や高齢化による森林所有者の森林施業への意欲減退及び担い手不足等により、一部の森林では保育・間伐等の森林施業の遅れから樹木の成育不良や林床植生の衰退による土壌流出が見られ、今後、このような手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞り、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に支障を及ぼすことが懸念されている。</p> <p>このため、森林施業の集約化・機械化等を通じた効率化を図りつつ、各市町村が策定している市町村森林整備計画に基づく適正な森林の管理を促進する必要がある。</p> <p>本事業は、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、下北地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき効率的な造林や保育、間伐等の森林整備を実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,190ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>総事業費：1,687,632千円（税抜き 1,534,211千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.98</p> <p style="padding-left: 40px;">（総便益（B）=13,726,611千円、総費用（C）=2,755,534千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、適正な造林や保育、間伐等の森林整備が必要であることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林施業の集約化・機械化等を通じた効率的かつ適確な森林整備を実施することとしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

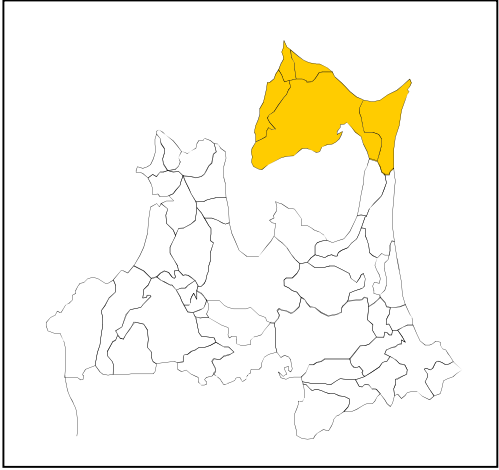
都道府県名：青森県

地域(地区)名：下北

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,169,995	
	流域貯水便益	816,396	
	水質浄化便益	3,181,052	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,022,330	
環境保全便益	炭素固定便益	823,059	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,713,779	
総 便 益 (B)		13,726,611	
総 費 用 (C)		2,755,534	
費用便益比	$B \div C = \frac{13,726,611}{2,755,534} = 4.98$		

森林環境保全整備事業 下北流域(青森県)概要図



凡 例	
計画区域	
市町村界	
旧市町村界	